

守谷市地域交通基礎調査業務の報告

1 業務内容**(1) 現状整理**

守谷市内における公共交通の現状及び課題の整理・分析を行います。併せて、国、県における関連する法令・計画等の整理を行い、守谷市における公共交通の計画との関連性を整理するとともに、守谷市における関連計画の整理を行います。

(2) 住民及び利用者ニーズの把握

住民及び利用者ニーズの把握を行うためのアンケート調査を行います。

(3) 事業内容の検討

守谷市において今後公共交通の利用を促進するための事業内容を検討します。なお、事業内容については、既存の路線の再編も念頭に置くものとします。

(4) 関係者ヒアリング

あらゆる交通事業者、周辺自治体等、関係者へのヒアリング調査を実施し、公共交通網形成に向けた課題やニーズを整理します。

(5) 基本の方針及び目標の設定

調査結果及びまちづくり等の関連分野との連携を整理した上で、市として目指すべき将来像と其中で公共交通が目指すべき役割を明確化し、取組の方向性を定めます。併せて、方針に基づく目標を設定します。

(6) 事業及び実施主体の設定

(5) の目標を達成するための事業として、目標達成のために提供されるべき公共交通サービスの全体像・具体的なサービス水準を定めます。併せて、その実現に必要な事業・実施主体を整理します。

2 バス利用に関する課題**課題 1** バス運行の効率性を考慮したバスネットワークの再編

- ・現状のバスネットワークは、市街地を網羅するネットワークとなっていますが、アンケート調査では、「運行本数が少ない」ことがバスの課題としてあげられています。運行本数を増加させるため、ルートの距離を短縮し、運行回数を増やすなどの対策が必要です。

- ・モコバスCルートの実行ルートは、アンケート調査で「不満である」が5割以上となっています。

課題2 バスの利便性を高める運行方法の改善

- ・バスの利用者数は、外出目的により利用する時間が異なります。各ルートが結ぶ主な施設を踏まえ、時間帯の運行本数を検討していくことが必要です。特に、鉄道駅でのバスの乗り継ぎに留意します。
- ・通勤時間帯など、駅までの時間を短縮することが、バス利用の利便性を高めます

課題3 快適なバス利用環境の創出

- ・バス利用において、バス待ち時間は、バス利用の障害となっており快適な環境づくりが必要です。

課題4 交通不便地域の解消

- ・アンケート調査では、「自宅からバス停までの距離」は300m以内が最も多くなっており、徒歩圏300mとして交通不便地域の解消を図ります。

課題5 バス利用者の増加を目指す

- ・モコバスは利用者が少なく、利用者の増加を図ることが必要です。
- ・環境負荷の軽減やバスの持続を図るため、車利用からバス利用への転換を進めることが必要です。